

授業科目名	看護学原論	担当教員	教授 福間美紀 他		
開講年次及び学期	1年前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
授業の目的（概要）					
<p>看護とは何か、看護の対象となる人間を捉える看護の視点、看護の役割について学習する。また、看護実践の基盤となる知識と思考と、看護実践のプロセスについて学習する。さらに、看護学を学ぶ成人学習者として看護の質向上に向けた自己の課題と目標を確認する。</p> <p>この科目で学んだ看護学にかかる専門知識は今後の学習の基盤となるものであるため、履修者の皆さんには学習内容の十分な理解を期待する。</p>					
学修成果（到達目標）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象となる人間を多面的・総合的に理解することにより、看護学の基盤としての人間観を育む。また、人間を取り巻く環境と健康生活との関連について理解し、看護学の基盤としての健康観を育む。 2. 看護の目的、対象、方法に関する基本的な考え方について理解できる。 3. 看護学を学ぶ者としての自己の課題と向き合い、今後の学習に関する学習意欲につなげる。 					
キーワード					
看護、人間、健康、環境、生活、看護実践					
授業の進め方					
予習、講義（オンデマンド・対面）、グループディスカッション、島根大学行動指針のフェーズが2以上になった場合は対面からオンライン（ライブ）に切り替える予定。					
成績評価の方法（合否基準）					
<p>授業のワークシートの評価、筆記テストの総得点を100点満点に換算したうち60点以上を合格とする。</p> <p>（島根大学行動指針のフェーズが上がった場合には、筆記テストをレポートに変更予定）</p>					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
<p>教科書：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 南江堂：看護学テキストNICE 看護学原論 改訂第2版 2. ナイチンゲール，湯槇ます他訳，看護覚え書き，現代社 <p>※その他、参考文献については授業の中で随時紹介する</p>					
オフィスアワー					
<p>福間美紀（基礎看護学講座）</p> <p>質問等は随時受け付けますのでメールにてアポイントをとること</p> <p>Email: mk8592@med.shimane-u.ac.jp</p>					

モデル・コア・カリキュラムとの関連

A 看護系人材(看護職)として求められる基本的な資質・能力

学士課程における看護系人材としての資質・能力を獲得するための学修内容とその到達レベルを定める。

A-1 プロフェッショナリズム

あらゆる発達段階、健康レベル、生活の場にある人々の健康で幸福な生活の実現に貢献することを使命とし、人々の尊厳を擁護する看護を実践し、その基盤となる看護学の発展や必要な役割の創造に寄与することを学ぶ。

A-1-1) 看護職としての使命、役割と責務、A-1-2) 看護の基盤となる基本的人権の理解と擁護、A-1-3) 看護倫理

A-2 看護学の知識と看護実践

多様な人々の看護に必要なかつ十分な知識を身に付け、個人・家族・集団・地域について幅広く理解し、アセスメント結果に基づく根拠ある看護を実践することを学ぶ。

A-2-1) 学修の在り方、A-2-2) 看護実践能力

A-5 保健・医療・福祉における協働

対象者や、保健・医療・福祉や生活に関わる全ての人々と協働し、必要に応じてチームのリーダー、メンバー、コーディネーターとして役割を担うための基盤を学ぶ。

A-5-1) 保健・医療・福祉における協働

A-6 ケアの質と安全の管理

人々にとって良質で安全なケアの提供に向けて、継続的にケアの質と安全を管理するための基盤を学ぶ。

A-6-1) ケアの質の保証、A-6-2) 安全性の管理

A-7 社会から求められる看護の役割の拡大

多様でしかも急速に変化しつつある社会状況を認識し、地域社会、国際社会から求められる役割を果たすことにより専門職の責任を果たすとともに、必要な役割を見だし拡大する基盤を学ぶ。

A-7-1) 看護職の活動の歴史・法的基盤、A-7-2) 保健・医療・福祉等の多様な場における看護職の役割

A-8 科学的探究

人々の健康で幸福な生活の実現に貢献する基盤としての看護学研究の必要性を理解し、研究成果と看護実践への活用例を具体的に知ることを通して、看護学の知識体系の構築に関心を向ける。

A-8-1) 看護学における研究の必要性・意義

B 社会と看護学

社会を形作る文化や制度と健康との関連について学び、看護学の基礎となる知識を修得する。また、社会における看護職の役割について学ぶ。

B-2 社会システムと健康

B-2-1) 健康の概念、B-2-2) 環境と健康、B-2-3) 生活・ライフスタイルと健康との関連、B-2-4) 地域ケアシステム、B-2-5) 社会の動向

B-3 社会における看護職の役割と責任

B-3-1) 看護職の法的位置付け、B-3-2) 看護における倫理、B-3-3) 国際社会と看護

C 看護の対象理解に必要な基本的知識

人間の生活者としての側面及び生物学的に共通する人間の身体的・精神的な側面を統合して理解するために必要な知識を修得し、取り巻く様々な環境からの影響を受けて存在する人間を包括的に理解する。このような人間理解を基盤として、健康に関与するための看護の理論を学び、看護の基本を理解する。

C-1 看護学に基づいた基本的な考え方

C-1-1) 看護の本質、C-1-2) ケア概念とケアにおける看護学との関連、C-1-3) 看護の観点から捉える人間

C-2 生活者としての人間理解

C-2-1) 人間にとっての生活

C-2-1)-(1) 生活行動の動機、C-2-1)-(3) 生活者としての多様性

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	配信方法	テーマ	授業内容	担当者
1	4/20	13:00～ 14:40	第4実習室	オンデマンド	moodle	オリエンテーション 看護とは何か、看護の定義と歴史的背景	看護の起源と看護学、看護の定義、看護の目的に触れ、看護学の発達と時代の変遷について理解する。	福間
2	4/27	13:00～ 14:40	N11	対面	ライブ (Webex)	看護の対象としての人	看護学の専門科目の構造と学習方法と看護学原論の位置付けについて理解する。 ワーク：人を知る	福間
3	5/11	13:00～ 14:40	〃	オンライン	ライブ (Webex)	看護の対象 人間：基本的欲求	人間を基本的欲求の側面から人間を捉え、自己実現や意味を目指す存在としての人間について理解を深める。	福間
4	5/18	13:00～ 14:40	〃	オンライン	ライブ (Webex)	看護の対象 人間：成長発達	人間を成長、発達の側面から捉え、ライフサイクルの中での個別化と社会化について理解を深める。	福間
5	5/25	13:00～ 14:40	〃	オンライン	ライブ (Webex)	看護の対象 健康と環境	健康に関する様々な考え方を知り、多様化する健康観、健康生活について理解を深める。	福間
6	6/1	13:00～ 14:40	〃	オンライン	ライブ (Webex)	看護の対象 心理的、社会的理解	自己と他者、社会的役割を理解し、健康との関係性について理解することができる。	福間
7	6/8	13:00～ 14:40	〃	対面	ライブ (Webex)	看護の歴史 ナイチンゲールの実践	近代看護の礎をになったナイチンゲールの看護実践に触れ、看護となるものは何かを理解することができる。	福間
8	6/15	13:00～ 14:40	〃	対面	ライブ (Webex)	看護実践の基盤 看護と法、看護の機能と役割	看護実践における法的基盤、医療制度の仕組み、看護行政を理解し、看護の機能を理解する。	福間
9	6/22	13:00～ 14:40	〃	対面	ライブ (Webex)	看護実践の基盤 看護倫理、生命倫理	基本的人権、倫理規定、倫理原則を踏まえ、看護実践における倫理の重要性を理解できる。	福間
10	6/29	13:00～ 14:40	〃	対面	ライブ (Webex)	看護とは何か 看護実践と医療安全	医療・看護における医療安全の意義、看護実践における機器要因について理解できる。	宮本
11	7/6	13:00～ 14:40	〃	対面	ライブ (Webex)	看護の展開 看護過程	看護における問題解決過程としての看護過程、看護過程の意義とプロセスについて理解できる。	福間
12	7/13	13:00～ 14:40	第4実習室	オンライン	ライブ (Webex)	看護の展開 看護の活動と記録	看護実践のプロセスと記録の実際に触れ、その意義について理解する。	福間
13	7/20	13:00～ 14:40	N11	対面	ライブ (Webex)	看護の展開 チーム医療の中の看護	チーム医療の基本的な考え方と看護の専門性の発揮に対する期待について理解する。	福間
14	7/27	13:00～ 14:40	〃	対面	ライブ (Webex)	看護・看護学の展望 看護実践と研究、国際化	看護実践と看護理論、研究について理解するとともに、日本の看護学の課題を確認し、今後の看護学の発展を目指した学習の動機付けができる。	福間

備考

- ・ 島根大学行動指針のフェーズが2以上になった場合、WEBEXによるライブ配信に変更
- ・ 対面授業に参加できない学生については、事前申し出を行い、許可を得てライブでのWEBEXに参加してください。
注) 配信方法のツールは、上記許可を得た場合のみに活用できます。